

2025年3月10日

各 位

住 所 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号
会 社 名 GMO インターネット株式会社
代 表 者 代表取締役 社長執行役員 伊藤 正
(コード番号 4784 東証プライム)
問い合わせ先 執行役員 菅谷 俊彦
T E L 03-5728-7900
U R L <https://www.internet.gmo/>

上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況について

(プライム市場における適合計画と、旧市場であるスタンダード市場での上場維持基準適合について)

当社は、2021年11月22日に、「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出し、2024年3月11日に、「上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況について(計画期間の変更)」(以下、「前回計画」)に記載のとおり、その進捗状況を開示するとともに、計画期間の変更を行ってまいりました。

一方で当社は、2025年1月1日より、当社の親会社であるGMOインターネットグループ株式会社(証券コード9449:東証プライム 以下、「GMO-IG」)のインターネットインフラ事業およびインターネット広告・メディア事業を吸収分割により承継し、上場先となる市場についても従前の東京証券取引所スタンダード市場から、東京証券取引所プライム市場に同日付で変更となっております。

については今回、**1. 東京証券取引所プライム市場における上場維持基準の適合状況と今後の計画について**
2. 前回計画におけるスタンダード市場での上場維持基準への適合状況について の2点につき、下記のとおりお知らせします。

記

1. 東京証券取引所プライム市場における上場維持基準の適合状況と今後の計画について

(1) 当社の上場維持基準の適合状況と計画期間

前述のとおり、当社は2025年1月1日よりGMO-IGのインターネットインフラ事業およびインターネット広告・メディア事業を吸収分割により承継しております。それに伴いまして、対象事業の対価としてGMO-IGに当社普通株式257,941,328株を割当交付いたしました。吸収分割の効力発生時点である2025年1月1日時点における東証プライム市場の上場維持基準への適合状況を当社において試算した結果、以下の通りであり、このうち「流通株式時価総額」「流通株式比率」について上場維持基準を充たさない見通しとなっております。

ます。同基準につき、当社は2025年12月末日を完了目処とし、次項の取り組みを実施しております。

市場区分		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率	発行済株式数 (参考)
プライム市場上場維持基準		800人以上	20,000単位	100億円	35.0%	-
当社の 適合状況	2024年12月末時点 (※1)	6,297人	43,916単位	25.7億円	26.2%	16,757,200株
	2025年1月1日時点 の概算値(※2)	6,297人	43,916単位	25.7億円	1.6%	274,698,528株
2025年1月1日時点の 適合状況		適合	適合	不適合	不適合	-

※1：参考として記載している発行済株式数を除き、株式会社東京証券取引所より通知された基準日時点におけるスタンダード市場の適合状況に係る数値をもとに記載しています

※2：以下の基準の通り当社において概算した数値となります。

(1)発行済株式数について：2024年12月末時点の発行済株式数に対し、割当交付した株式である257,941,328株を加算し算出しています。

(2)株主数および流通株式数について：2024年12月末時点の適合状況に係る数値と変更していません。

(3)流通株式比率について：上記(2)における2024年12月末時点の流通株式数(43,196単位)を株式数に換算し(4,319,600株)、(1)の通り算出した発行済株式数で除して算出しております。

(4)流通株式時価総額について：上記(2)における2024年12月末時点の流通株式数(43,196単位)を株式数に換算し(4,319,600株)、2024年12月末日以前の3ヶ月間の日々の最終価格の平均値(585.38円)を乗じて算出しております。

(2) 取組みの基本方針、課題及び取り組み内容

ア. 基本方針

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するために、必要な資本政策を適時に実行していく方針であります。また、プライム市場における上場維持は、当社が投資対象として十分な流動性とガバナンス水準を備えた会社であることを示すために重要であると認識しており、今後も国内外の機関投資家・個人投資家への情報発信の拡充を通じて、より多くの投資家の投資対象になりうることを目指してまいります。

イ. 課題

当社は「プライム市場」における上場維持基準の適合にあたり、以下の点を課題として認識しております。

- ・ 割当交付により親会社の株式保有率が高く、流通株式比率が非常に少ないこと
- ・ 上記に起因して純投資目的の機関投資家の参加率が低いこと

ウ. 取り組み内容

上記イに記載の課題に対応するため、当社は、四半期毎の決算情報の法定開示・適時開示に加え、決算補足資料を作成し、当社コーポレートサイトにおいて公表をしております。また、決算説明会についても、オンライン開催の実施や動画のアップロード・質疑内容の開示など、投資家における情報取得の機会の多様化に努めております。

今後も、適時開示およびコーポレートサイトでの情報公開を軸に、発信する情報の質に留意しつつ、当社の事業および今後の成長性の理解を促す情報発信に努めてまいり所存です。また、当社の事業特性に応じた指標の追加など、投資家の理解を深めていただくための公表資料の拡充について継続的に検討しております。

また、流通株式比率の増加にあたっては、GMO-IGを中心とした法人株主の保有する当社株式の市場売却や立会外分売、GMO-IGからの当社株式の買取りやおよび消却などの改善策を段階的に実行し、最終的にはGMO-IGが保有する当社株式の売出しにより流通株式比率35%の充足を目指すことをGMO-IGと協議しております。これらの手法、数量及び時期については、当社株式の市場における売買状況を考慮しながら、株価形成への影響に十分配慮したうえで、法人株主をはじめとした関係各所と協議を継続し、流通株式比率改善のための手法を決定してまいりたいと考えており、この流通株式比率改善に向けた取り組みを行うことで、流通株式時価総額に関しても改善が進むものと認識しております。なお、具体的な内容については、決定次第速やかに公表いたします。

これら取組をもって、当社の中長期的な企業価値の向上および持続的な成長につき、投資家の理解を促進するとともに、プライム市場における上場維持基準の適合を目指してまいります

2. 前回計画におけるスタンダード市場での上場維持基準への適合状況について

(1) 当社の上場維持基準の適合状況および計画期間

当社の2023年12月31日時点における東証スタンダード市場の上場維持基準への適合状況は以下の通りであり、このうち「流通株式比率」については上場維持基準を充たしておりませんでした。計画に基づく取り組みを進めた結果、2024年12月31日時点において当該基準を充たしていることを確認いたしました。

		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率
スタンダード市場上場維持基準		400人以上	2,000単位	10億円	25.0%
当社の適合状況 および その推移	2022年6月末時点 (※)	7,174人	36,001単位	19.2億円	21.4%
	2022年12月末時点 (※)	6,885人	38,764単位	17.3億円	23.1%
	2023年12月末時点 (※)	6,671人	39,079単位	14.8億円	23.3%

	2024年12月末時点 (※)	6,297人	43,916単位	25.7億円	26.2%
2024年12月末時点の適合状況					適合
前回計画における計画期間					2025年12月 末

※…株式会社東京証券取引所より通知された基準日時点における当社の適合状況を記載しています

以上